

公益財団法人かすがい市民文化財団広報誌

# FORUM PRESS

春日井の“毎日”を、もっと楽しく！



## Contents

文化や芸術の情報をお届け！

2023.11-2024.1月

- ◆ 生で聴く“のだめカンタービレ”の音楽会 ニューイヤーコンサート 石井琢磨インタビュー
- ◆ なぞって愉しむ宮沢賢治の世界 by Shinzi Katoh

VOL. 112

# 生で聴く “のだめカンタービレ” の音楽会 ニューイヤーコンサート

2024年の幕開けを祝う

ニューイヤーコンサート。

5年ぶりに待望の

オーケストラ版が実現しました!

新春を飾るにふさわしい豪華出演者の中から、

国内外での活動に加え、

クラシック系YouTuberとしても大人気の

ピアニスト・石井琢磨さんに、

クラシックの魅力、

音楽会の見どころ、聴きどころなどを伺いました。



Takuma Ishii INTERVIEW

FORUM PRESSは  
みんなの笑顔が  
あふれる広場  
のような広報誌を目指します。

- 01 特集  
生で聴く  
“のだめカンタービレ”の音楽会  
ニューイヤーコンサート  
石井琢磨インタビュー

取材・テキスト=三宅 有

- 06 特集  
なぞって愉しむ宮沢賢治の世界  
by Shinzi Katoh

取材・テキスト=三宅 有

- 08 子どもと楽しむ! KIDS★PRESS 12

[今回のテーマ]かすが人形劇フェスティバル  
今号の先生=清水真美子(かすが人形劇フェスティバル実行委員長)

- 10 FORUM PRESS LIBRARY

かすが市民文化財団プロデューサーのおススメ本を紹介

- 11 聴き書き自分史“もの、語り 大切なもの、教えてください。  
「しゃちほこっ」の色紙

取材・テキスト=芳賀倫子(日本自分史センター相談員) / 語り手=なるみ家笑天(社会人落語家)

- 12 みんなのひろば 11

春日井ビブリオバトルの会代表 石原伸生さん

- 13 わたしのアトリエ

第74回全国書道展覧会「道風展」の作品紹介  
学生半紙の部 愛知県知事賞 村井 実結さん

- 14 公演レポート

ミュージカル「カラフル」  
市民レポーターが公演の様子をレポート! 担当スタッフが語る“よもやまばなし、も。”

- 15 インフォメーション

- 16 あのひと、春日井と  
室田伊緒 / 女流棋士

春日井に何かしら縁のあるアーティストを紹介しています。  
取材・テキスト=三宅 有

今号の表紙



[モデル]  
室田伊緒

[撮影]  
中野隆一/写真家

# 音楽で聴く人を幸せに



クラシック音楽を  
より身近に

「国内外での演奏活動が忙しい中、クラシック音楽をいろんな形で聴かせてくれる公式YouTubeチャンネル「TAKU」音TV「たくおん」に込めた想いを聞かせてください。」

石井 「誰も傷つけない」「クラシックを身近に」というコンセプトで制作しています。10年以上、ウイーンと日本を行き来していますが、ウイーンは根付いているんですね、クラシックが。自宅に演奏家を招いて、5〜10人で聴くコンサートが日夜開かれています。日本も「当たり前前にクラシックのある生活」になっていくと嬉しいですね。

「チャンネル開設から3年足らずで、登録者数が24万人を超えています。人気の秘訣は何でしょうか？」

「音楽家、芸術家の真の姿が描かれていない」とも、「聞いた、こういうヤツ」って自分も留学していた頃の記憶と重なります。

石井 「音楽家、芸術家の真の姿が描かれていると？」

石井 「暗闇があるから光がいつそう輝くでしょ。そのレンジの広さ、光と影が詳細に、繊細に描かれているところが、のための真骨頂かなって、個人的には思いますがね。芸術家ってスランプがあるからこそ成長できるし、表現の

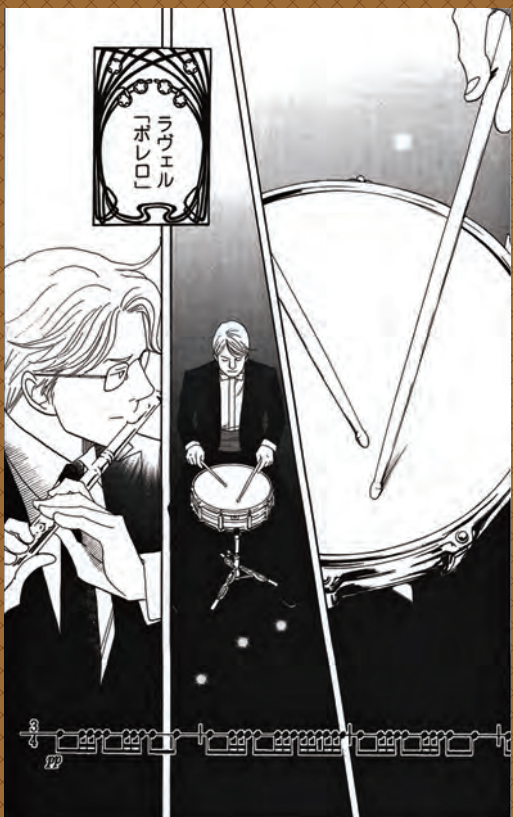
曲だから聴いてっ！」という気持ちで演奏します。想いは音に出ると信じているから。

「クラシック音楽」と「のだめカンタービレ」

石井さんが伝えたいクラシックの魅力はどこなところですか。石井 「魅力はたくさんあるんですけど、一番いいと思うのは、『囁めば囁むほどおいしい』と『何度聴いても同じ顔を見せないんです。だから長い間、愛されていると思うし、250年間ヒットし続けているベートーヴェンってすごくないですか!?!』

「のだめカンタービレ」もテレビドラマ、アニメ、映画、この秋にはミュージカルが上演されるなど、たくさんの人から愛され続けています。

石井 「あらためて新装版を読み



©二ノ宮知子/講談社

一人を「喜ばせたい」「楽しませたい」という思いはどこから？」

石井 「中学3年生のピアノの発表会で、僕の演奏を聴いた見知らぬ人が「聴いていて幸せになる」と言ってくれたんです。稲妻が走ったというか、音楽の力を感じました。だから、僕が弾くのは僕の好きな曲です。どの曲も「いい

一人を「喜ばせたい」「楽しませたい」という思いはどこから？」

石井 「中学3年生のピアノの発表会で、僕の演奏を聴いた見知らぬ人が「聴いていて幸せになる」と言ってくれたんです。稲妻が走ったというか、音楽の力を感じました。だから、僕が弾くのは僕の好きな曲です。どの曲も「いい

# 新年を彩るクラシックの名曲を、迫力のオーケストラサウンドで。

幅が広がると思えます。奇想天外さとか明るさに目が行きがちですが、影の部分に注目して読むと、新しいのための世界がみえてくるかもしれません。読むたびに新しい発見があるのはクラシックと同じ。二ノ宮先生すごいっ！

生きる原動力がもらえる！

ニューイヤークンサート

―春日井でのニューイヤークンサートの見どころ、聴きどころを願います。

石井 曲の配置が抜群に上手いんですね。『歌劇』ばらの騎士』組曲』(リヒャルト・シュトラウス)は聴いたこともない方多いのではないのでしょうか。一方で、『春の声』(ヨハン・シュトラウス2世)でまさしくウィーンの



©二ノ宮知子/講談社



ニューイヤークンサートの雰囲気味わえます。誰にも聴きやすいよう構成されていて、クラシックの素晴らしさを感じてもらえると思います。

―春日井のお客様にメッセージを。

石井 僕が演奏する『ラプソディー・イン・ブルー』(ガーシュイン)は、まさに新年の幕開けにふさわしい曲です！クラシックとジャズの要素があつて自由度が高く、最後は大団円。のための中でも重要な楽曲ですし、オケとピアノのかけあいも楽しんでもらえたいですね。『ボレロ』で熱くなって、この曲でさらに熱く！そして、みなさんと2024年の幕開けをお祝いできたら嬉しいです。ぜひお越しください。

## 公演情報

市制80周年記念

# 生で聴く『のためたカンタービレ』の音楽会 ニューイヤークンサート



©二ノ宮知子/講談社

2024.1.8 (月・祝)  
15:00~(開場14:30)  
@春日井市民会館

### 【出演】

- 茂木大輔 (指揮)
- 名古屋フィルハーモニー交響楽団 (管弦楽)
- 飯田みち代 (ソプラノ)
- 石井琢磨 (ピアノ)



- 曲目
- ◆J.シュトラウス2世：春の声
  - ◆J.シュトラウス2世：喜歌劇「こうもり」より チャルダッシュ
  - ◆R.シュトラウス：歌劇「ばらの騎士」組曲
  - ◆ガーシュウィン：ラプソディー・イン・ブルー
  - ◆ラヴェル：ボレロ

※都合により演奏者、曲目が変更になる場合がございます。予めご了承ください。

詳細はこちら



## PROFILE 石井琢磨

東京藝術大学音楽学部器楽科ピアノ専攻を経てウィーン国立音楽大学ピアノ科入学、同科修士課程卒業。ポストグラデュアーレコース修了。2016年ジョルジュ・エネスク国際コンクールピアノ部門2位は日本人ピアニスト初入賞の快挙。2ndアルバム「Scene」がAmazon、楽天等のクラシック部門1位を独占。オリコン総合部門でもクラシックCDとしては異例の3位に。今最もチケットが手に入らないピアニストの1人。



公式HP



公式  
YouTubeチャンネル  
「TAKU-音TV」



市制80周年記念事業  
朗読でなぞる  
シンジ・カトウ 宮沢賢治幻燈館

世界中で親しまれるキャラクターを生み出す  
春日井市在住のデザイナー  
Shinzi Katohが贈る宮沢賢治の世界

特別ゲスト 桑島法子(朗読)

2024.2.25(日)  
15:00開演(14:30開場)  
@春日井市東部市民センター



Shinzi Katoh

「ガラスペンでなぞる文学  
宮沢賢治幻燈館」が大ヒッ  
ト中の世界的雑貨デザイ  
ナー・Shinzi Katohさん  
(春日井市在住)。賢治の世  
界観をイメージした絵を見  
ながら、物語をなぞる同書  
は、読者の感性に響き、  
Amazon通販サイトで発売  
1カ月前から書籍ランキ  
ング1位になる人気ぶり  
です。2024年2月に  
は、ステージ上に投影する  
その絵と、声優の桑島法子  
さんの朗読でなぞる「公  
演も開かれます。

by Shinzi Katoh  
プロダクトデザイナー

# なぞって愉しむ 宮沢賢治の世界



## 「賢治はロマンチスト」

Shinzi Katohさんが手掛ける宮沢賢治  
幻燈館シリーズ。賢治の作品世界を描いた  
アイテムはポストカード、マスキングテー  
プ、トートバッグ、時計や紅茶など多種多  
様。いまでもその数は増え続けています。「人  
の数だけ個性がある」と話すShinzi Katoh  
さんのデザインには、「楽しさと自由度」  
があふれています。「ガラスペンでなぞる  
文学」シリーズでは、なぞる書体が38種、  
したためる紙の種類が6種、インクの色  
まで物語のイメージに合わせて読者が選  
択できます。「賢治はロマンチストだと思  
いますね。濃紺、ブルーというイメージ  
は最初からありました」。一般的にデザイ  
ンの世界で暗い色は受け入れられにくい  
ため、「箔でキラキラにして、星や宇宙を  
表現」することで、幻想的な賢治の世界を  
描き出しています。

## 最高のデザインを

絵本作家でもあるShinzi Katohさん。  
環境問題をテーマにした「そらべあ」は、  
アジアを中心に世界各国で出版されてい  
ます。また、ヨーロッパでは子ども用の  
木製傘が年間販売数100万本を超えた  
ことも。国内では、衣料品メーカー・ワコー  
ルのパジャマ、ロフトやハンズで販売され  
ている各種生活雑貨、さらには、100円  
ショップチェーン・Coco★Duoに、この秋  
から並ぶ描き下ろしのデザイン・シール  
など、そのデザインは多岐にわたります。  
「多くの人を楽しませたいから、いつも全  
力。その時その時の最高のものを創り出  
そうとしているだけです」

## 賢治と同じ?!

デザイン事務所の女性スタッフによる  
と、「好奇心が人一倍強いです。特に美し  
いもの、可愛いもの、きれいなものには目  
がない人」「喜んでもらえるデザインのた  
めに引き出しをたくさん持っていないとい  
けないし、そのどれも新しい情報でいつ  
ぱいにしておかない」とShinzi Katoh  
さん。手掛けてきた「ガラスペンでなぞ  
る文学 宮沢賢治幻燈館」が、「朗読でなぞ  
る」と形を変えて広がっていくことを「嬉  
しいですね。実は僕、賢治と同じロマン  
チストなんです笑」と歓迎しています。

NAZOTTE TANOSHIMU  
MIYAZAWA KENJI NO  
SEKAI  
by Shinzi Katoh



人形劇は、古代ギリシャやエジプトの時代からあったといわれ、子どもから大人まで、たくさんの人たちに愛されてきました。様々な人形劇団が集まる「かすがい人形劇フェスティバル」は、ことし25回目を迎えて、一段とパワーアップ！それぞれの上演作品を、チョットだけのぞいてみましょう。



今号の共生

清水真美子

春日井市在住/  
かすがい人形劇フェスティバル  
実行委員長

今回のテーマ

かすがい人形劇  
フェスティバル

# 子どもと楽しむ!

KIDS★PRESS 12

まだまだあるよ!!

## 夢見小僧 よろずや〇

誰にも話さなければ、いいことがあるといわれた初夢。和尚さんや鬼たちから「話せ」とおどされた小僧ちゃん。どうする?! ちゃん!



## まほうの水 じゃんけんぽん

おんじいの森でいつも仲よく遊んでいる3人組。おんじいを助けるために「魔法の水」を探す冒険に出發!



## こうたとりゅう とんとんとん

お父さんの病気に「りゅうの涙」が効くと聞いて探しに出るこうた。途中、様々な困難がふりかかりますが、無事に戻ってお父さんに渡せるでしょうか…。



## ぼっけとゆうくんの なにしよ話 おしゃべり劇場 ぼっけ

司会という大役に緊張と不安でドキドキのぼっけと、ワクワク張り切るゆうくん。ちょっぴりズレた“迷コンビ”のふたりが、力を合わせて盛り上げますっ!



どこまでも広がる想像力で楽しさ無限大!!

## 上演作品のご紹介

### まほうねずみシュッポ むすび座

「子どもと子どもをむすびます。人と人とをむすびます」を合言葉に、東海地方初のプロ人形劇団として誕生したむすび座は、みんなに愛され続ける名作をお届け。シュッポは魔法を人を助けるために使います。魔法の言葉は「シュッポ、ラン、ポラン!」。みんなで会いに来てね♡



### おおかみくんと 赤ずまんちゃん 人形劇団パン

見る人に「人を想う心」「命を大切にできる力」を伝えてきたパン。パペットカーで全国各地を駆け巡って上演もしています! パンの人形劇は参加型。見ている人の誰かに「大切な(?)」役をお願いします。どんな役かは見てのお楽しみ。「悪いオオカミにならない」とおおかみくんは言うのですが…。



お知らせ

## 25th かすがい人形劇フェスティバル

チケット好評発売中

日時 2023.12.17(日)

- 午前の部 10:00開演(9:45開場)
- 午後の部 14:00開演(13:45開場)

場所 文化フォーラム春日井 視聴覚ホール

チケット  
取扱い 文化フォーラム春日井2F  
チケットカウンター

※窓口購入のみ(9:00~17:00)  
※午前の部・午後の部、それぞれチケットが必要です。



### 作って遊ぼうコーナー

くれよんの会

場所 交流アトリウム

折り紙や  
動くウサギやサルを  
工作します。

※チケット・申込は不要です。

飛び入り  
大歓迎!



## 「たっちゃんの紙芝居生ライブ」 「りさちゃんの自由な紙芝居」

### マーガレット一家

子どもからおじいちゃん・おばあちゃんまで大人気の熱血紙芝居師・たっちゃんは、第1回紙芝居グランプリ優勝作品「たっちゃんの紙芝居生ライブ」を。愛されキャラ・りさちゃんは、見て笑っているうちに、なんだかありのままの自分が大好きになっちゃう「りさちゃんの自由な紙芝居」をそれぞれ上演します!



# “もの”語り

#12



## 「しゃちほこっ」の色紙



語り手

なるみ家笑天  
(社会人落語家)

取材・テキスト

芳賀 倫子 (日本自分史センター相談員)

芳賀先生の自分史相談

無料/ 毎週火曜日 13:00~17:00  
要予約 文化フォーラム春日井にて



聞き書き自分史とは?

語り手の話に耳を傾け、本人に代わって書く自分史です。

私から見ると神様のような柳家喬太郎師匠から戴いた色紙。生涯の宝物です。東京での社会人落語家の集まりにゲストとして招かれていた師匠。打ち上げでなんと、私の目の前に座られました。サインをお願いしたら、「名古屋から来たなら『しゃちほこっ』だろう」と絵まで!! 天にも昇る思いとは、まさにこのことか!?! しかも、「呼んでくれれば喜んで行くよ」とも。急ぎ名古屋で師匠の落語会を整えました。もちろん即完。あの面白さですからね〜。以来、師匠の落語会は40回余り続いています。

私の本業は看板屋です。けれど、月の半分以上は社会人落語家として、老人クラブ、お寺、企業イベントなど、年150会場ほど伺っています。並行して、喬太郎師匠の落語会がきっかけで20年、プロの噺家さんを招く落語会も開いています。「江戸と上方の中間で落語を大いに盛り上げたい」、そんな大きな夢の原点となった色紙です。

それではお後がよろしいようで…。

笑天さんも派遣アーティストとして活動する………  
かすがいどこでもアート・ドア  
来年度の派遣先募集は2024年1月から



詳しくは財団HPで

# FORUM PRESS LIBRARY

フォーラムプレスライブラリー

文化フォーラム春日井で読めます!!

かすがい市民文化財団プロデューサーのおススメ本を紹介

プロデューサー小松淳子の

## このマンガを読め!!



### 半人前の恋人

#### 美術部男子と職人女子の青春物語

美術部員だからと、学校の備品作りを先生に頼まれた進太郎。慣れない工具に悪戦苦闘している彼を覗んでいた怖い女子が、工具を取り上げるやいなや、鮮やかな手つきでノコギリを使い始めて…。

ジャンプ+に連載されているこの漫画は、美大を目指す進太郎と、太鼓職人の響子の青春ストーリー。ジャンプということで、子ども向けと思われるかもしれませんが、是非とも大人に読んでいただきたい作品です。なぜならば、惚れた腫れたの賑やかでわちゃわちゃした恋愛漫画とは一線を画す、一言で言えばとても落ち着いた作品なのです。進太郎と響子が互いを意識し、思いやり、一歩ずつ、真摯に歩み寄っていくその恋愛の過程が、まるで昭和の巨匠の映画を見るように丁寧で。令和の時代に、こんなに誠実な学生の恋愛物語が描けるのか!と、衝撃を受けました。



川田大智/集英社

## 三度三途の川を渡り損ねて

—音を失った七十年の生き様—



プロデューサー山川愛の

## 自分史「この一冊」



著者: 藤原 清

### はかり知れないこと

この春、一通のFAXが届いた。大阪からだった。「自分の人生を本にまとめたので、寄贈に伺いたい」という内容で、やり取りはFAXをご希望とのこと。遠方までお越しいただくのは恐縮と、郵送をおすすめしたが、ご来館を強く希望されたので日時を決めた。

「耳の聴こえない方に、役に立てられたら」と置いていかれた一冊の本。藤原さんは昭和22年、8歳の時に高熱のため失聴した。補聴器も役に立たないという内耳の疫病だった藤原さんの経験を読んで、私は何も知らなかったんだと肺腑にしみた。

時折、音楽への思いが書かれている。「突然、頭の中で自分だけの演奏が始まる」という藤原さんの体験を、耳の聴こえる私は想像だにできない。でも、ページをめくりながら思い巡らすことはできる。音楽は耳で聴くものでなく、身体で感じるものなのだ。



「とにかく書道が好きで、筆を手にしている時が一番落ち着きます」と村井さん。祖父母が書いている姿に憧れを抱き、小学

1年生で小川書道教室の門を叩きました。「先生の書く字を見たい時、字が上手になりたい」となるとなく思っていた私の中に、

明確な目標ができました。「先生のような字を書きたい！」と。以来、言われることは聞き漏らさず、先生が手本を書く時の筆を動かす速さや筆圧までも目に焼き付けて練習してきました。その集大成ともいえる受賞作は「今できる精一杯です」

現在は高校受験もあって書道から離れている村井さんですが、志は道半ば。「いつかは、先生のような綺麗な字を書きたい」と願っています。



小野道風公奉賛  
第74回全国書道展覧会  
「道風展」の作品紹介



むらい みゆ  
村井 実結  
中学3年生。  
昨年、学生半紙の部で愛知県知事賞を受賞。

お知らせ 市制80周年記念 小野道風公奉賛 第75回全国書道展覧会「道風展」

展覧会

2023.10.29(日)～11.5(日)  
@文化フォーラム春日井・ギャラリー、  
市役所10・11・12階など

特別巡回展

2023.11.11(土)～26(日)  
@春日井市道風記念館



詳細はこちら

VR道風展

2023.10.29(日)～12.3(日)  
スマホやPCなどで、  
気軽に道風展を鑑賞いただけます。



詳細はこちら

道風展こぼれ話

表彰式出席のため  
春日井初来訪  
「道風くん、かわいいっ！」



昨年、学生半紙の部で観光コンベンション協会会長賞を受賞した金子由来(ゆら)さん(当時：小学6年生)。埼玉県から家族と初めて春日井へ。楽しみにしていた道風くんグッズ。お気に入りのマグカップは筆立てに。

ENJOY! FORUM

みんなの  
ひろば  
11

ISHIHARA  
NOBUO



文化フォーラム春日井や  
春日井市民会館は、  
春日井の文化をつむぐ  
「みんなのひろば」です。  
そこに集う人々を紹介します!

＼読んで楽しい! 話して楽しい! /

春日井ビブリオバトルの会 代表

石原伸生 さん

自分ならではの本紹介で  
感動のおすそ分け

「『バトル』という言葉が穏やかではないですが、ビブリオバトルは、面白いと思った本を互いに発表するコミュニケーションゲームです」。参加者は持ち時間5分で、推し本の魅力をプレゼン。その中で、もっとも読んでみたいと思っただけに一人一票を投じ、「チャンプ本」を決めます。「本の良し悪しではなく、ライブ感が大切。聞く人の目を見ながら、自分の人生や暮らしと書評を絡めたら説得力が生まれます。原稿を丸暗記して朗々と語るより、子どもさんが拙くても朴とつと語ると、心奪われたりします」。石原さんにとって最も鮮烈な記憶は、「好みの文章やシーンでページを切り離して分冊。改めて構成・製



多彩なジャンルの本を紹介しあう参加者たち

本して愛でた方がいました。本を心底楽しむ究極の愛読者だと感動しました」

会員は現在、40〜70歳の12人。「本好き・人好き・話し好きが、隔月で集まって自由気ままに語り合っています。本の楽しみ方の幅が広がるかもしれません。一度、覗いてみませんか」と呼びかけています。

石原さんからの

2023  
ビブリオバトル大会

@文化フォーラム春日井2階・文化活動室

2023.11.11(土)  
午後2時～3時半

見学大歓迎!

※定例会は1月から再開します。

申込、詳細は  
コチラ



お知らせ





## 昼コン&夜コン 開催します!

本格的なアーティストの生演奏を気軽に楽しめる無料のコンサートです。毎回出演アーティストが異なります。詳しくは、当財団HPをご確認ください。

**[昼] 2023.11.11(土) 14:00-15:00**  
**[夜] 2023.12.8(金) 19:00-20:00**  
@文化フォーラム春日井・交流アトリウム



## 第31回春日井市高等学校 吹奏楽フェスティバル

春日井市内の7校の高校吹奏楽部が一堂に会し、ステージマーチングショー、シンフォニックスステージ、ポップスステージで熱い高校生サウンドを響かせます♪

**2023.12.24(日) 14:00~**  
@春日井市民会館

主催 春日井市高等学校吹奏楽協議会  
(中部大学春日丘高等学校内)



## 市制80周年記念 第43回春日井市 短詩型文学祭作品展

「短歌」「俳句」「川柳」「狂俳」「詩」部門の優秀作品を展示します。受賞作品を掲載した作品集を、会場ほか市役所や市内各公共施設で無料配布します。

**2024.1.27(土)~2.12(月・祝)**

9:00~17:00(最終日は16:00まで)  
@文化フォーラム春日井・交流アトリウム



## 市制80周年記念・第30回記念 2023春日井市民第九演奏会

1993年に始まった市民参加型の演奏会。発足から携わってきた多くの人々の想いが脈々と受け継がれています。30回目にふさわしい演奏で、さらなる進化に向けたスタートを切ります。

**2023.12.10(日)**  
15:00-17:00(予定)  
@春日井市民会館



## とっておきのクリスマス コンサート2023

春日井児童合唱団による恒例のクリスマスコンサート。子どもたちの澄んだ美しい歌声が心温まるクリスマスを運んでくれます。

**2023.12.24(日)**

17:30-  
@文化フォーラム春日井・交流アトリウム



## 演劇×自分史プロジェクト 2023

幅広い世代のみなさんの様々な人生の物語やエピソードから、演出家・劇作家の有門正太郎がオリジナル台本を創作。オーディションで選ばれた中高生や市民が「演劇×自分史」として上演します。

**2024.1.28(日)**

@文化フォーラム春日井

## 読者アンケート

今回の「広報誌FORUM PRESS」はいかがでしたか? 感想やご意見をお寄せください。回答はQRコードから。抽選でプレゼントもお届けします。回答の締め切り: 2023.12.8(金)



## 今回のプレゼント

「生で聴く“のだめカンタービレ”の音楽会 ニューイヤーコンサート」(2024/1/8(月・祝) 15:00~@春日井市民会館)のチケットを1組2名様にプレゼントします! プレゼント不要の方も、ご回答いただけるようになっております。



## 編集後記

石井琢磨さんの「TAKU-音 TV」。実に美味しそうにスイーツを食べる。出ない音があるピアノだって、石井さんが弾けば楽しく音を奏で始める。聴く人々が次第に盛り上がり上げていく様子を見るのも心地イイ! ハピネス満載のチャンネルです。(三宅)

行ってきました!

# 公演レポート

## ミュージカル「カラフル」

2023年8月26日(土)、27日(日)  
@春日井市民会館



今回の担当レポーター  
宮川あけみ

市民レポーターが  
かすがい市民文化財団の  
アレコレを紹介!

REPORT NUMBER 499



他のレポートは  
コチラ!

## 「生きる」にエール

こんな天使がいたら応援されてみたいと思つた川平慈英さん演じる天使プラプラ。明るく、「ドーンと行ってこい!」と背中を押す川平さんの歌声と踊りに思わず拍手。このプラプラをガイドに、抽選で再び人生に挑む権利を手にした中学生の「ぼく」役は鈴木福君。苦しい胸の内がよくわかる表情に、さすが!と、また拍手でした。

ミュージカル『カラフル』の原作は、直木賞作家森絵都さんの同名小説。青春の一冊として根強い人気を誇っています。原作を読んでいるので、ミュージカルでは話がどう展開するのか気になっていましたが、始まってしまえば、それは杞憂でした。『ぼく』がどうして人生をもう一度やり直すことになったのかなどのエピソードが、テンポよく進みました。クライマックスで光の雨が降り注ぎ、白一色だった舞台が虹色の世界に変わったときは、「オオ」と感嘆の声。「止まない雨はない」。スツキリとした青空が心に広がった一瞬でした。

ミュージカル「カラフル」物販担当

松井 和代  
まつい かずよ



「担当スタッフの」  
よもやま  
ばなし

終演後、ロビーで販売されていた原作の文庫本は完売! 東京・兵庫・茨城とツアーを回ってきた製作スタッフの方も「春日井は用意した50冊、全部売れた!」と、驚きと喜びの表情。手にした方が「すごくいい舞台だった」「原作に興味がありました」と、紅潮した顔で話すがとても印象的でした。感動を持ち帰りたい! 気分になってもらったのかな... と思うと、嬉しくなりました。



私自身、楽しかった旅行のノリで勝った気がしました」。女性アマチュア日本一を決める全国大会を制したことで、「強くなりたいたいという思いはより強くなり、この上はプロしかない」と高みを目指した。その夏、「優勝したらプロに」と師匠と約束して臨んだ第25回全国中学生選抜将棋選手権大会でも優勝を果たした。女流棋士を養成する育成会を制度上最短の1年で駆け抜け、高校1年生の10月、晴れてプロとなった。

「負けるのが嫌だから、将棋以外で『勝負』はしない」という室田さん。しかし、対局では勝つ時もあれば負ける時もある。「負けは悪いことではありません。落胆もしますが、闘志が湧きますし、自分を見つめ直す機会にもなります。むしろ、最近では勝っても安堵する以上の感情はなくて、でも、弟弟子の藤井(聡太)くんがプロになったばかりの頃でしたが、勝った時は嬉しかったですね。やっぱり将棋が好きなんです」

### 真摯に 向き合っていく

ただひたすら、「将棋が強くなりたい」という思いで駆け上ってきた。しかし、レベルが上がるにつれて苦悩することが増える。「伸びる時期は過ぎて、維持だっただけではありません。対局の前に、10代の頃にはなかった眠れない夜も」。そんなとき手にするの也将棋の本。全てが将棋に始まり、将棋に帰ってくる。



**室田伊緒**  
Murota Iori

1989年生まれ。春日井市出身。2004年第36回女流アマ名人戦優勝。同年の第42期赤旗名人戦にも出場し、女性の本戦入りは大会史上初。女流育成会入会。2005年育成会を1年(2期)で抜けてプロ入り。2006年女流1級昇級。2008年女流初段、2014年女流二段に昇段。春日井広報大使。

お知らせ 春日井市制80周年記念事業

## 将棋フェスティバル 2023 2023.11.23(木・祝)

@文化フォーラム春日井・交流アトリウム、視聴覚ホール

- △初心者講座
- △プロ棋士によるトークショー・公開対局
- △子ども将棋大会  
プロ棋士と対局!多面指し など

詳しくはコチラ




「70代、80代になっても現役で指していたいと思っています。もちろん、タイトルを目指すのは必定。向上心がなくなったら失礼ですから。相手にも、将棋にも」。室田さんの肩間に力がこもった。

「西洋菓子  
シンシアのケーキ」

中学生の頃、友達とお店で勉強する『ご褒美』としてケーキを1個、2個?...3個!?食べていましたね。いま思えば、ケーキがモチベーションだったかも(笑)。「好きなものは「リベラ」。いまでも春日井に帰ってくる時「いただきます♡」



好きだから  
勝っても負けても  
生涯指し続ける

あの人と、春日井と

## 室田伊緒 女流棋士

### 穏やかさを まとめて

夏の暑さが残る9月下旬。名古屋・大曾根商店街の将棋イベントに室田さんの姿があった。「師匠(杉本昌隆八段)の将棋教室がほど近く、新年の一門研究会に来たときなどにお邪魔する馴染みの商店街です。師匠の地元でもあって、今日はお手伝いさせてもらっています」。指導対局、師匠とのトークショーなど、かいがいしく立ち回り、合い間には同門の中高生たちと、まるで部活動の先輩後輩のように会話が弾む。ファンとの記念撮影会にも涼やかな表情で応じる。そこに、勝負の世界に身を置く女流棋士のたまたまは感じられない。時間までもが、穏やかにゆったりと刻まれていくかのようだ。そんな室田さんは対局でも泰然自若。「師匠譲りの長考派です。考えること自体が好きなのかもしれません」と棋士としての自身を俯瞰する。

### 五分で始まった 将棋人生

初めて将棋を指したのは小学5年生。日本将棋連盟春日井支部へ弟を送り、「お嬢ちゃんもどろろ?」と誘われた。「3〜4カ月くらいずっと断っていたんですけど、参加者はピカチュウの鉛筆がもらえるという不純な?動機につられてやってみたら、楽しくて」。人生初対局は2勝2敗だった。

以来、家では詰将棋や定跡本を読みこみ、「当時、絶対には負けたくない相手だった」という好敵手の弟と対局を重ねた。将棋教室にも足繁く通い、いつしか、ピアノ、書道、英会話、スイミングなど、続けていた習い事はすべて将棋に代わっていった。

中学3年生の春。修学旅行先の東京から春日井へ帰るクラスメートと別れ、ひとり残って出場した第36回女流アマ名人戦で優勝。「誰も勝つとは思ってなくて。

## チケット予約・購入

3つの方法が選べます

### 窓口

文化フォーラム春日井2階・チケットカウンター  
(休館日を除く、9:00~17:00)

春日井市東部市民センター2階・事務室  
(12/29~1/3を除く、9:00~17:00)

### 電話

0568-85-6868 9:00~21:30

友の会PiPi専用

0568-85-6078 9:00~17:00

### WEB

パソコンやスマホから、  
かんたんアクセス

予約

[www.kasugai-bunka.jp](http://www.kasugai-bunka.jp)

にアクセス。

※事前のWeb会員登録(無料)が必要です。  
※PiPi会員はIDとパスワードでログインできます。



支払

- 文化フォーラム春日井2階・チケットカウンター
- 春日井市東部市民センター2階・事務室
- セブン-イレブン(※手数料あり)
- クレジットカード決済

発券

- 文化フォーラム春日井2階・チケットカウンター
- 春日井市東部市民センター2階・事務室
- セブン-イレブン(※手数料あり)
- 配送(※手数料あり)

## 学生の特券

幅広いジャンルの公演や展覧会を、小中高生に  
低価格で楽しんでいただけるサポート制度。  
詳細は文化財団のホームページへ。



## 文化フォーラム春日井 春日井市民会館

公益財団法人かすがい市民文化財団  
TEL:0568-85-6868  
〒486-0844 愛知県春日井市鳥居松町5-44

## FOLLOW US

かすがい市民文化財団の公式アカウントです。



@kasugai\_bunka



@477kdncp



[休館日]  
月曜日(祝休日の場合は翌平日)  
12/29~1/3

[かすがい市民文化財団HP]  
[www.kasugai-bunka.jp](http://www.kasugai-bunka.jp)



## ACCESS 交通のご案内

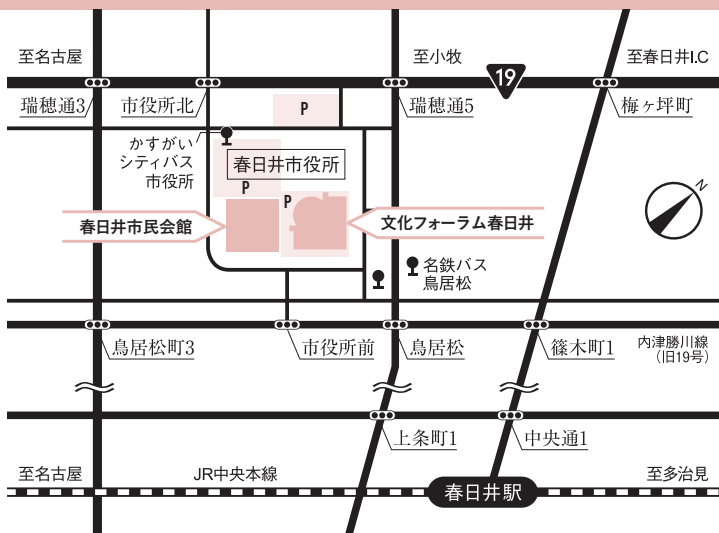
JR中央本線「春日井駅」北口より

- ・名鉄バス「鳥居松」下車すぐ
- ・徒歩20分
- ・無料レンタサイクル5分(日・祝休み)

かすがいシティバスでお越しの方

- ・「市役所」下車すぐ

駐車場は混雑が予想されます。  
なるべく公共交通機関や  
乗合せをご利用ください。



やむを得ない事情によって  
イベント内容が変更になる場合があります。  
最新情報はかすがい市民文化財団のホームページでご確認ください。



公益財団法人  
かすがい市民文化財団